第１学年 美術科 学習指導案

新潟市中教研　研究主題
「豊かな感性を養い、主体的に創造活動を楽しむ生徒の育成」

１　題材名　「素敵な絵とお話」＋「サプライズ(２)カード」
～美術と道徳の連携授業の試み～

２　題材の道徳との関連

（１）　「素敵な絵とお話」
① テーマを「小さい子供(保育園の年小ぐらい)に夢や希望、思いやりや自然愛護など(道徳的な価値)を伝える」内容とし表現する。
② 題材の「お話」の部分は担任にも協力してもらい、子供に短く分かりやすく文章を考えさせる。

（２）　「サプライズ(２)カード」
① テーマを「身近な人に感謝の気持ちを伝える」内容とし表現する。
② 事前に道徳の授業で「思いやり・感謝」についての題材に取り組み、多くの人に支えられていることに気づく。

（３）　「共通部分」
① 作品のテーマ設定を「道徳的な価値」について発想が広げられるものにする。
② 作品作りでは、「自己をみつめ他者との関わり」を意識させ、取り組み方や表現の仕方を考える。
③ 題材の鑑賞会を通して「多面的・多角的な見方」「友だちの良さを発見」させる指導に心がける。

３　指導について

（１）　「学年一斉授業」
① 学年全体で行うことで生徒の題材への意識を高める。
② 他クラスの生徒の意見や学年部の先生方の助言などにより発想を広げる。
③ 美術の授業の取り組みを学年部の先生方に理解してもらう。

（２）　「ICTの活用」
① 先輩の作品紹介で、作品の表現意図や表現方法について理解を深める。
② 技術指導でビデオ録画を活用し、表現方法や注意点などについて気く。

（３）　「受容的な授業」
① 教師が、生徒の思いや表現を肯定的に捉え受容し自信をもたせる。
② 他の生徒の意見や表現のよいところを見つけさせるように導く。

４　本時の計画

（１）　本時のねらい
① 「素敵な絵とお話」の発表から友だちの思いや作品のよさに気づくことができる。
② 先輩の作品から「サプライズ(２)カード」についての理解を深めることができる。

（２）　本時の展開

学習活動	教師の働きかけと予想される生徒の反応	■評価　○留意点
「素敵な絵とお話」の鑑賞会から友だちの思いや作品のよさに気づく。 （１５分）	**☆　個々の思いを共有する。** T「素敵な絵とお話」各クラスの代表生徒が発表する。４クラスの生徒発表→感想 S１「発想がおもしろい」 S２「重ね刷りで色がきれい」 S３「主人公が目立つ工夫をしている」 T「全体を通しての感想」 S４「個性があっておもしろい」	○スクリーンが見えるか確認する。 ○学年の雰囲気を和らげるようにする。 ■意欲的に取り組んでいるか。
「カード」について理解を深める。 （１０分）	**☆　先輩の思いを汲み取り個々の思いへとつなげる。** T 先輩の作品紹介ビデオを見て、カードの目的について理解する。 「身近な人にカードで思いを伝える」 ・誰に・何のカードで・どんな思いを T 参考作品を通して、誰にどんな思いを伝えたいカードなのか予測する。 S５「バースデーカード」 S６「お母さんへありがとうカード」 S７「友だちに応援カード」	○作品のできばえよりも思いに注目させる。 ○貰った人がどう感じるかを考えさせる。 ■意欲的に取り組んでいるか。
「サプライズ(２)カード」の内容を理解する。 カードについて考える。 （１５分）	T 「サプライズ(２)カード」について説明する。貰った相手が2度ビックリするカードを作ろう。 ※ ワークシート配布 T 「喜ばれるカード」を考えよう。 T カードのパーツを考えよう。 ※ 道徳の授業のことを思い出させる。	○貰った人が２度喜ぶカードを考えさせる。 ■ワークシートを書いているか。
友だちの考えを聞く。 （１０分）	T 誰に贈るか決まった人は発表する。 S８「両親に感謝状」 S９「友だちに部活がんばれカード」 T 貰った人が喜ぶようにがんばろう。 T 文化祭で先輩がカードをよく鑑賞して参考にしよう。	○受容する態度で接し、今後に希望を与える。

（３）　本時の評価

①　作品鑑賞会から友だちの思いや作品のよさに気づくことができたか。

②　先輩の作品からカードについての理解を深めることができたか。